

他分野との融合による農業ビジネスの可能性と課題
—他分野融合と多様な人材の活躍を支える
「東北版農業他分野融合プラットフォーム」の構築に向けて—

1. 調査の概要

人口減少や高齢化の進行により、東北圏の農業では担い手不足や経営の持続性確保が大きな課題となっている。こうした中、農業の持続的発展に向けては、農業単独の取り組みにとどまらず、他産業との連携や多様な人材の活躍を通じた「次世代型農業モデル」の構築が重要となっている。

本調査では、こうした問題意識のもと、農業における「他分野融合」と「多様な人材の活躍」に着目し、政策動向の整理や先進事例へのヒアリング調査を通じて、その実態と成功要因、課題を分析した。対象とした分野は、環境・エネルギー（再生可能エネルギー、カーボンクレジット）、観光（農泊、ガストロノミーツーリズム）、輸出といった他分野融合の取り組みと、福祉（農福連携）、外国人材、女性活躍などの多様な人材の活躍に関する取り組みである。

2. 調査結果のポイント

分析の結果、先進事例にはいくつかの共通する構造的な特徴と課題が見られた。

① 他分野融合に関する構造的課題

他分野融合の成功事例では、農家が単独でリスクや実務を抱え込まず、各主体の強みを生かした役割分担により事業が設計されている。また、農家が既存営農の延長で参画できる仕組みと、農業と他分野の違いを調整する「翻訳・接続機能」を組み込むことで、持続的な事業化を実現している。

② 多様な人材の活躍に関する構造的特徴

多様な人材の活躍は、人手不足への対症療法ではなく、農業経営の持続性・安定性を高める戦略として位置付けられている。また、マッチングや環境整備などを組織的に仕組み化し、関係主体との役割分担により実効性を確保している。

③ 「他分野融合」「多様な人材の活躍」に共通する構造的課題

他分野融合と多様な人材活躍の普及には、農家の認知不足やマッチング機会の欠如、ノウハウの属人化による参入障壁の高さが共通課題として存在する。さらに、支援制度の情報が分散し活用しにくいことも、取り組みの広がりを阻害している。

3. 提言

東北圏において農業と他分野の連携や多様な人材の活躍を広げていくためには、農業者と企業・団体、人材をつなぐ中間的な支援機能の強化が重要である。本調査では、その具体的方策として「東北版農業他分野融合プラットフォーム」の構築を提言する。

本プラットフォームは、次の3つの機能を担うことが期待される。

① 情報発信・相談窓口機能

先進事例や制度、支援策などの情報を整理・発信し、農業者や企業が活用しやすい環境を整える。

② 他分野の事業者とのマッチング機能

農業者と企業・団体、多様な人材を結び付け、他分野との連携や人材活用を促進する。

③ アドバイザー等による伴走支援・アドバイス機能

事業化に向けた相談対応やノウハウ提供などを通じて、取り組みの立ち上げや発展を支援する。